

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスNoah小久保		
○保護者評価実施期間	2025年 12月1日 ~ 2026年 2月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年 12月1日 ~ 2026年 2月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々子どもたちの様子から見えている姿だけでなく内側に目を向けた支援(アプローチ)をしている。 ★いまある姿がダメなのではなく、その内側を知ること否定しない関わりが可能になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門支援員との連携。 ・研修の受講による専門的視点の補填。 ・矢印を自分(支援者)へ向けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の専門員との連携。 ・利用児童への関わりの変換を増やしていく。 ・更なる専門的視点の補填。 ・日々の関わりから専門員としての関わりを続けていく。

2	里山活動による日常と違った環境での自然遊び。	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらから正解を与えずそれぞれが思うように遊ぶ中で失敗や成功を繰り返し学びに繋がるよう見守っています。(必要に応じて助言をする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる活動内容の充実化。 ・ある程度行動がパターン化された利用児童の様子の中に仕掛けを作り新しい発見へ導いていく。
3	日々子どもたちの様子をMTや振り返り時間などスタッフ間で話し合い、その後の支援・関わりへ繋げていけるよう共有を繰り返し行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて実践的な振り返りを行っている。 ・話しのできる時間をつくっている。 ・子どもたちの楽しい！を引き出していけるよう活動を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定されたプログラムにならない為の工夫。 ・全体として見守るだけでなく個々の姿を見ていく視点づくり。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や事業所外での交流を更に増やしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部への発信が少ない。 ・時々関わりはあるが、その後の事業所間での振り返りや次へ繋げていくアプローチが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な他児事業所への関わり。 ・地域イベントの調査・参加検討。
2	保護者交流・子どもたちの交流の場が活動以外で少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日や実施場所へのアクセスが難しい。 ・実施場所の確保の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスしやすい実施場所の確保。 ・はやめの全体連絡。 ・可能な場合には2回実施

3	スタッフと保護者との関わりが多くない。	・送迎時の関わりがほとんど。 ・面談時などの同席ができていない。	・イベント時の積極的な関わり。 ・送迎時に可能な限り関わりをもつ。 ・管理者との面談時に参加していく。
---	---------------------	-------------------------------------	---